



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP 上場取引所 東
コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 布施 信夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 森田 正和 TEL 03-5777-6295
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	71,458	4.8	2,224	△18.8	2,003	△16.2	1,434	△18.7
2023年3月期第3四半期	68,200	22.6	2,740	41.4	2,391	△2.3	1,763	△28.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,328百万円(△28.2%) 2023年3月期第3四半期 4,635百万円(54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	32.35	—
2023年3月期第3四半期	39.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	78,142	39,718	47.9
2023年3月期	81,888	40,303	44.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 37,438百万円 2023年3月期 36,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	6.2	4,000	3.4	3,500	△3.8	2,200	△43.1	49.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	44,741,467株	2023年3月期	44,741,467株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	541,339株	2023年3月期	156,042株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	44,331,329株	2023年3月期3Q	44,508,174株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が進んでいる一方で、物価上昇やウクライナ侵攻の長期化及び中東紛争の激化などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループは2021年度に策定した中期経営計画「G-EST2025」(ジーエスト2025)の3年目を推進するにあたり、2025年度に目指す姿「高収益体質のグループ」を実現するためには「収益力の向上」が重要課題であると改めて認識し、4つの基本戦略の方針を見直すとともに「ゲーム関連事業の拡大」を新たな戦略に加えしました。2023年度においては「基盤確立から成長路線へ舵をとる年」を方針とし、2025年度において、売上高1,100億円、営業利益率(のれん等償却前)8%、EBITDA110億円の実現に向けて取り組んでおります。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は714億58百万円(前年同四半期比4.8%増)、営業利益は22億24百万円(前年同四半期比18.8%減)、経常利益は20億3百万円(前年同四半期比16.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億34百万円(前年同四半期比18.7%減)となりました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス事業」から「映像制作技術サービス事業」へ変更しております。当該変更はセグメント名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

1)映像コンテンツ事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は196億30百万円(前年同四半期比10.7%増)、営業利益は5億40百万円(前年同四半期比89.0%増)となりました。

劇場映画・ドラマ作品は、5月公開映画「岸辺露伴 ルーヴルへ行く」、11月公開映画「ゴジラー1.0」、及び12月配信のNetflixシリーズ「幽☆遊☆白書」をはじめとした劇場映画や動画配信事業者向けの大型作品を計上し、前年同期並の売上高となりました。アニメーション作品は、CGアニメーションやテレビシリーズの受注が好調なことにより大幅な増収となりました。出版事業は、10月よりテレビアニメ放映中のライトノベル「薬屋のひとりごと」など、書籍販売が好調のため増収となりました。一方、CM制作については、TV向けの受注は低調でしたが、Web向けは好調に推移しました。

これらの結果、映像コンテンツ事業全体は増収増益となりました。

2)映像制作技術サービス事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は406億39百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益は14億3百万円(前年同四半期比34.6%減)となりました。

国内のE2Eサービス^{*1}は、デジタルシネマ向けのサービス及びローカライズ等が堅調に推移し増収増益となりました。

海外のE2Eサービス^{*1}は、動画配信事業者向けの旧作品ローカライズ需要が一巡したことにより減収となる一方、劇場公開作品の増加に伴うデジタルシネマ向けサービスや予告編制作サービスが伸長し、さらに為替の影響もあり増収となりましたが、拠点拡張により人件費、減価償却費などが増加し、減益となりました。

ゲーム関連事業^{*2}は、3DCG制作が堅調に推移したことなどにより増収となりました。

TV向けポストプロダクションサービスは、受注が低調に推移し減収減益となりました。

これらの結果、映像制作技術サービス事業全体は増収減益となりました。

※1：E2Eサービス：End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称。なお、海外のE2Eサービスの業績につきましては、決算日が12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には2023年1月1日～2023年9月30日の実績を反映しております。

※2：ゲーム関連事業：2D/3DCG制作、デバッグ・ソフトウェアテスト、ゲーム人材派遣・紹介等。

3)映像システム事業

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は127億83百万円(前年同四半期比1.2%増)、営業利益は11億44百万円(前年同四半期比3.3%減)となりました。

ハイスピードカメラは、受注が好調に推移したことで大幅な増収となりました。一方、放送映像システムは、案件の受注が低調に推移し減収となりました。光学計測は若干の増収となるも、映像・画像処理LSIについては、引き続き市場環境の悪化などにより減収減益となりました。

これらの結果、映像システム事業全体は増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて39億45百万円(8.8%)減少し、410億25百万円となりました。

これは主に、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金、並びに受取手形、売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億円(0.5%)増加し、371億17百万円となりました。

これは主に、建設仮勘定及び繰延税金資産が減少した一方で、建物及び構築物、並びに有形固定資産のその他が増加したことによるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて37億45百万円(4.6%)減少し、781億42百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて23億76百万円(7.2%)減少し、308億28百万円となりました。

これは主に、契約負債、並びに支払手形及び買掛金が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7億83百万円(9.3%)減少し、75億95百万円となりました。

これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて31億60百万円(7.6%)減少し、384億24百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて5億85百万円(1.5%)減少し、397億18百万円となりました。

これは主に、為替換算調整勘定が増加した一方で、非支配株主持分が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表した数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,813,769	4,377,280
受取手形、売掛金及び契約資産	21,937,480	19,138,472
棚卸資産	12,460,112	13,552,625
その他	2,868,953	4,067,750
貸倒引当金	△109,328	△111,113
流動資産合計	44,970,987	41,025,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,213,112	13,105,399
減価償却累計額	△7,584,337	△8,038,995
減損損失累計額	△619,501	△612,405
建物及び構築物(純額)	4,009,273	4,453,998
機械装置及び運搬具	6,210,738	6,143,471
減価償却累計額	△5,525,748	△5,477,994
減損損失累計額	△139,607	△137,211
機械装置及び運搬具(純額)	545,383	528,265
土地	921,363	921,363
リース資産	5,991,152	6,061,501
減価償却累計額	△871,877	△949,533
減損損失累計額	△121,127	△89,060
リース資産(純額)	4,998,147	5,022,907
建設仮勘定	1,711,600	1,272,217
その他	7,801,738	9,065,841
減価償却累計額	△5,377,680	△6,287,991
減損損失累計額	△135,685	△140,079
その他(純額)	2,288,372	2,637,771
有形固定資産合計	14,474,140	14,836,523
無形固定資産		
のれん	11,780,285	11,933,678
その他	2,460,007	2,564,776
無形固定資産合計	14,240,292	14,498,454
投資その他の資産		
投資有価証券	2,876,524	2,847,833
関係会社株式	514,042	449,712
敷金及び保証金	2,048,952	2,027,344
繰延税金資産	2,420,133	2,209,181
その他	490,206	403,809
貸倒引当金	△147,088	△155,234
投資その他の資産合計	8,202,771	7,782,646
固定資産合計	36,917,204	37,117,624
資産合計	81,888,191	78,142,639

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,133,738	6,374,307
短期借入金	6,432,680	7,163,188
リース債務	881,977	960,136
未払金	1,769,403	1,949,884
未払法人税等	1,172,785	575,171
契約負債	7,591,449	6,097,137
賞与引当金	1,281,691	643,658
受注損失引当金	1,100	500
訴訟損失引当金	630,660	—
資産除去債務	23,181	—
その他	6,286,605	7,064,384
流動負債合計	33,205,274	30,828,368
固定負債		
長期借入金	1,366,665	686,434
リース債務	4,498,102	4,492,725
長期未払金	252,767	168,224
繰延税金負債	196,598	205,416
退職給付に係る負債	1,241,071	1,278,036
資産除去債務	653,518	664,248
その他	170,257	100,762
固定負債合計	8,378,982	7,595,847
負債合計	41,584,257	38,424,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,306,002	3,306,002
資本剰余金	13,020,018	12,155,677
利益剰余金	16,982,736	17,747,716
自己株式	△158,530	△411,349
株主資本合計	33,150,226	32,798,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	713,553	852,137
繰延ヘッジ損益	20,740	29,101
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	2,237,081	3,775,626
退職給付に係る調整累計額	2,828	1,872
その他の包括利益累計額合計	2,956,270	4,640,805
非支配株主持分	4,197,436	2,279,569
純資産合計	40,303,934	39,718,423
負債純資産合計	81,888,191	78,142,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	68,200,306	71,458,362
売上原価	49,003,240	50,950,328
売上総利益	19,197,066	20,508,033
販売費及び一般管理費	16,456,158	18,283,545
営業利益	2,740,907	2,224,488
営業外収益		
受取利息	1,433	7,449
受取配当金	26,117	34,747
為替差益	—	102,672
その他	139,921	121,129
営業外収益合計	167,473	265,999
営業外費用		
支払利息	191,203	285,034
持分法による投資損失	6,572	8,200
投資事業組合管理費	—	104,778
為替差損	160,660	—
その他	158,478	88,590
営業外費用合計	516,915	486,604
経常利益	2,391,464	2,003,882
特別利益		
固定資産売却益	7,070	2,644
投資有価証券売却益	28,000	290,067
関係会社株式売却益	132,878	145,943
訴訟損失引当金戻入額	—	234,162
移転補償金	416,055	—
その他	1,909	12,372
特別利益合計	585,913	685,189
特別損失		
固定資産除却損	3,785	1,523
減損損失	13,935	18,327
関係会社株式評価損	—	41,940
移転関連費用	61,862	—
割増退職金	170,228	—
その他	5,221	14,343
特別損失合計	255,032	76,135
税金等調整前四半期純利益	2,722,345	2,612,936
法人税等	838,911	969,963
四半期純利益	1,883,433	1,642,973
非支配株主に帰属する四半期純利益	120,321	208,708
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,763,112	1,434,264

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
四半期純利益	1,883,433	1,642,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,791	142,899
繰延ヘッジ損益	—	8,361
為替換算調整勘定	2,794,869	1,535,242
退職給付に係る調整額	△284	△956
その他の包括利益合計	2,751,793	1,685,548
四半期包括利益	4,635,227	3,328,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,493,223	3,118,799
非支配株主に係る四半期包括利益	142,003	209,721

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	17,627,671	38,473,727	12,087,135	68,188,534	11,772	68,200,306
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	104,249	1,171,442	547,877	1,823,569	△1,823,569	—
計	17,731,921	39,645,169	12,635,012	70,012,103	△1,811,796	68,200,306
セグメント利益	285,810	2,147,007	1,184,033	3,616,851	△875,944	2,740,907

(注) 1. セグメント利益の調整額△875,944千円は、当社に係る損益1,192,718千円及びセグメント間取引消去△2,068,662千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 技術サービス	映像 システム	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	19,572,583	39,619,450	12,259,674	71,451,708	6,653	71,458,362
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	57,820	1,020,188	524,070	1,602,079	△1,602,079	—
計	19,630,403	40,639,639	12,783,745	73,053,788	△1,595,426	71,458,362
セグメント利益	540,123	1,403,073	1,144,530	3,087,726	△863,238	2,224,488

(注) 1. セグメント利益の調整額△863,238千円は、当社に係る損益923,088千円及びセグメント間取引消去△1,786,326千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を従来の「映像制作サービス」から「映像制作技術サービス」へ変更しております。当該名称変更がセグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても変更後の名称で記載しております。